

## 食事・飲水制限について

一部の血液検査および胃の検査、腹部超音波をご受診の方は食事・飲水制限がございます。該当検査の有無は、予約後に送付いたします資料をご確認ください。

### 午前に健診を受診される場合

食 事	前日の21時以降は食事をとらないでください（あめ・ガム・タブレット類も不可）
水 分	受付時間の2時間前まで水または白湯のみ摂取可能です ※脱水予防のため、受付時間の2時間前まではこまめに少量ずつお摂りください。 ※薬の服用については下記「検査当日のお薬について」をご確認ください。
お 酒	前日から禁酒してください
たばこ	前日から禁煙してください（電子たばこを含む）

### 午後に健診を受診される場合

食 事	朝食は7時までで消化の良いものを少量のみ摂取可能です ※何もつけない食パン1枚、素うどん、栄養補助ゼリー等。（牛乳などの乳製品や卵、糖分や脂肪分の多い食事は不可）
水 分	受付時間の2時間前まで水または白湯のみ摂取可能です ※脱水予防のため、受付時間の2時間前まではこまめに少量ずつお摂りください。 ※薬の服用については下記「検査当日のお薬について」をご確認ください。
お 酒	前日から禁酒してください
たばこ	当日の7時以降は禁煙してください（電子たばこを含む）

## 検査当日のお薬について

お薬を処方されている方は、お薬手帳や説明書をご確認いただき、問診の該当する疾患名に「通院あり（薬あり）」とご回答ください。

※予防的な投与の場合でも同様にご対応をお願いいたします。

お薬をご使用中の方は、検査受診可否を含め、事前に主治医にご相談・ご確認ください。

### 内服薬・注射薬

	【高血圧・不整脈・喘息・てんかん・頭痛等のお薬】 受付時間の2時間前までに200ml以内のお水で服用ください
食事制限のある方	【糖尿病のお薬（経口血糖降下剤・インスリン自己注射等）】 午前に受診される場合：朝分の内服薬・自己注射は使用しないでください 午後に受診される場合：朝・昼分の内服薬・自己注射の使用については 事前に主治医へご相談・ご確認ください
食事制限のない方	いつも通りに服用してください

### 外用薬

【吸入薬・点眼薬・点鼻薬・点耳薬】いつも通りにご使用ください

【貼付剤（湿布・テープ製剤・カイロ等）】お薬をお持ちいただき、検査終了後にご使用ください  
※主治医の指示により、貼り付けが必要な場合や一時的にでもはがすことができない場合、検査実施前に検査技師にお申し出ください。

## 検査の注意事項（全般） 1/2

当施設では、安全管理のため既往歴や検査当日の体調等の身体上条件によっては一部ご受診いただけない検査がございます。また、以下に該当がない場合でも、危険回避等のため当方の判断で検査をお断りする事がございます。あらかじめご了承ください。

なお、検査項目によっては、食事制限や一部の内服薬の一時中止が必要です。

ご受診予定の検査項目についてのご質問等がございましたら、お問い合わせください。

### 治療中の病気がある方・持病をお持ちの方・1年以内に手術を受けられた方

事前に主治医へ検査項目をお伝えいただき、受診の可否についてご確認ください。

※主治医に確認が取れた場合でも、当方の判断で検査をお断りする事がございます。

### 妊娠中の方・妊娠の可能性がある方

事前に健診予約センターまでご連絡ください。一部の検査はご受診いただけません。

### 生理期間中の方

子宮頸がん検査はご受診いただけません。受診日の変更をお願いいたします。

尿検査・便潜血検査はご受診いただけますが、正確な検査結果を得られないことがございます。事前に日程変更するなど、生理期間を避けるようご調整ください。

日程変更をされず、生理期間中に受診される場合でも、必ず検体のご提出をお願いいたします。

※実施できない検査を後日受診とすることはできません。

### 授乳中の方・埋込式の医療機器（ペースメーカー・埋め込み式除細動器・心電計等）を装着中の方

受診日当日に受付までお申し出ください。一部の検査はご受診いただけません。

### 持続血糖測定器（FreeStyleリブレ等）をご使用中の方

X線検査（胸部・胃部・マンモグラフィ・骨密度測定）により、センサーに影響を及ぼす可能性がございます。検査前にはセンサーを取り外していただき、検査後に新しいセンサーを装着してください。

なお、装着したままでもご受診いただけますが、検査後に必ず新しいセンサーに交換してください。センサーに影響が出た場合でも当施設では責任を負いかねます。

### アレルギーのある方

使用する消毒液・手袋（ゴム）・バリウム・麻酔薬など、医療機器（器具）などによりアレルギーを起こす場合がございます。気になるアレルギーをお持ちの方は、事前にお申し出ください。

## 検査の注意事項（全般） 2/2

### 検査をご受診いただけない方

下記に該当する方は受けられない検査がございます。

条件	受けられない検査
<ul style="list-style-type: none"><li>● 妊娠中の方、または妊娠の可能性がある方</li></ul>	子宮頸がん検査 胃内視鏡検査 X線検査(胸部・胃部・骨密度測定 ・マンモグラフィ)
<ul style="list-style-type: none"><li>● 生理期間中の方</li></ul>	子宮頸がん検査 ※尿検査・便潜血検査を実施する方は 日程変更されることをおすすめします。
<ul style="list-style-type: none"><li>● 埋込式の医療機器を装着中の方 (ペースメーカー・埋め込み式除細動器・心電計等)</li></ul>	体脂肪検査 マンモグラフィ検査
<ul style="list-style-type: none"><li>● 授乳中の方、または断乳から6か月未満の方</li><li>● 豊胸手術を受けた方(ヒアルロン酸などの注入を含む)</li><li>● 頭からお腹にかけてのシャントチューブ(VPシャント)やポートを入れている方</li></ul>	マンモグラフィ検査
<ul style="list-style-type: none"><li>● 体重が130kg以上の方</li></ul>	胃内視鏡検査 子宮頸がん検査 経膈超音波検査
<ul style="list-style-type: none"><li>● 体重が135kg以上の方</li></ul>	胃部X線検査
<ul style="list-style-type: none"><li>● キシロカイン(歯科などで使用する局所麻酔薬)のアレルギーがある方</li></ul>	胃内視鏡検査
<ul style="list-style-type: none"><li>● 受診日当日の血圧が収縮期180mmHg以上または拡張期110mmHg以上の方 ※高血圧治療中の方は、予約時間の2時間前までに降圧剤を服用してください。</li><li>● 在宅酸素治療中の方(常時、酸素吸入が必要な方)</li></ul>	胃内視鏡検査 胃部X線検査
<ul style="list-style-type: none"><li>● ペースメーカー・埋め込み式除細動器を装着中の方</li><li>● 胃ろうを挿入されている方</li><li>● 過去にバリウムによるショック症状や副作用があった方</li><li>● 麻痺等で、立つこと、手すりにつかまり体を支えることが困難な方</li><li>● 1年以内に食道・胃・小腸・大腸・膵臓の手術をされた方 (虫垂炎・肛門周囲疾患(痔等)の術後、半年を経過していない方)</li><li>● 潰瘍性大腸炎やクローン病等、現在または過去に消化管疾患の既往がある方</li><li>● 大腸憩室炎治療中、または治療後6か月未満の方</li><li>● 受診日時点の年齢が満85歳以上の方</li></ul>	胃部X線検査 ※胃内視鏡検査をおすすめします。

## 検査の注意事項（検査別） 1/2

### 尿検査

受診日当日の起床後最初の尿を採取してください。※後日の提出は受付いたしません。

### 便潜血検査

受診日を含む5日以内の便を採取してください。※後日の提出は受付いたしません。

### 眼の検査（眼底検査、眼圧検査）

コンタクトレンズを使用している方は、外してから検査をお受けください。  
※眼底検査に限り、ソフトコンタクトレンズであれば装着したまま検査をお受けいただけます。  
まばたきや緊張、つけまつげ等により正確に検査できない場合があります。

### マンモグラフィ検査

検査の際に乳房を上下、左右に圧迫する為に痛みを感じる場合があります。

### 子宮頸がん検査（子宮頸部細胞診）

子宮入口の細胞を擦り取る為、検査時に痛みや検査後に出血することがあります。

### 胃内視鏡検査

内視鏡挿入の影響による、鼻・のどの痛み、鼻出血の他、使用する薬剤によるアレルギーやショックが起こる場合があります。

組織検査を実施する場合には、出血や穿孔が生じることがあります。

【鎮静剤を使用した胃内視鏡検査を申し込まれた場合】

鎮静剤使用後は24時間程度、眠気や判断力の低下が生じることがあります。当日は車・バイク・自転車の運転はできません。危険を伴う行為、重要な判断を要する行為はお控えください。

### 胃部X線検査

検査台の上で何度も身体を回転させたり、機械で腹部を圧迫する事によりごく稀に骨折をすることがあります。（特に骨粗鬆症の方）

ごく稀にバリウム製剤過敏症アレルギー、誤嚥性肺炎、腸管穿孔、腸閉塞、腹膜炎等を起こす場合があります。腸管穿孔を合併した場合、緊急手術が必要なる可能性があります。検査の影響による症状の再燃や、検査後のバリウムイレウス（腸閉塞）等が懸念されるため、ご受診は慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

胃・大腸の手術歴がある方、透析治療などで水分摂取制限のある方、便秘がひどく検査後の排便に不安のある方は、胃内視鏡検査への変更をおすすめいたします。

※変更をご希望の方は事前にお電話でのご連絡が必要です。予約状況次第では、受診日の変更をお願いする場合や変更を承れない場合がございます。また、ご契約内容により胃内視鏡検査への変更ができない場合や変更時に別途差額費用が発生する場合がございます。

## 検査の注意事項（検査別） 2/2

### 採血検査

血管や神経の走行、血管のもろさ、血液の固まりにくさ、痛みの感じ方などにより個人差がありますが、採血の合併症・偶発症の頻度は極めて少なく、また、軽症なものが多いとされています。

「止血困難」「皮下血腫（あざ）」「血管迷走神経反応（めまい・気分不快・意識消失など）」「神経損傷（採血後も持続する手指へ広がる痛みやしびれ）」などの合併症・偶発症が起きることがあります。

麻酔テープ（ペンレステープ・エムラパッチ）の取り扱いはございません。

採血の際の疼痛緩和目的で麻酔テープをご自身でご用意いただいた場合でも、安全管理上の問題からご使用をお断りいたしておりますのであらかじめご了承ください。

### 合併症・偶発症が生じた場合

医療行為は、少なからず身体への負担（侵襲）を伴う場合があります。

また、医療者が安全に十分配慮し、最善と思われる方法で医療行為を行っても予期せぬ事故、有害事象、合併症・偶発症の場合には賠償請求には応じかねる場合があります。

合併症・偶発症が発生した場合には、当院および系列医療機関で治療を行います。その際の医療費は、通常の保険診療となり、受診者様に自己負担が発生します。

合併症・偶発症により、他の医療機関をご受診された場合に発生した医療費についても同様となります。

医療行為に伴う侵襲と合併症・偶発症の発症リスク、医療の不確実性と限界、不可抗力についてご理解を頂いた上で、各種検査をお受けいただきますようお願いいたします。

### 個人情報の取り扱いについて

仁医会グループでは個人情報保護法に基づいた個人情報保護方針を定め、適正な安全管理の履行に努めております。詳細は社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院ホームページ内の「個人情報保護方針」をご確認ください。

受診結果等の個人情報は、法令を遵守し、適切な安全管理のもとで取り扱います。ご本人の同意なく、以下の利用目的以外に使用することはありません。

#### 【利用目的】

- 健診の予約・受付・問診・検査・結果通知など健診業務の実施
- 個人・事業主・健康保険組合・行政機関等との契約の履行上必要な情報提供
- 受診結果に基づく保健指導や受診勧奨のご案内等のサービス
- 受診後の紹介先医療機関・行政機関等への情報提供
- 所属事業所の衛生担当者・産業医・保健師からの健康管理上の照会
- 法令に基づき情報提供を指示された場合の報告・対応
- 個人が識別できない状態とした上での統計情報の提供、集団分析、事例報告

※個人情報提供の任意性：個人情報のご提供は任意です。ただし、必要な個人情報を提供いただけない場合には、上記利用目的の業務を履行できない場合があります。